

インターネット対応型次世代物流 E D I 標準の完成と無償公開

社団法人日本物流団体連合会 物流 E D I センター

(社)日本物流団体連合会 物流 E D I センターは、このたびインターネットに対応した次世代物流 E D I 標準の改訂版『「物流 XML / E D I 標準」 Ver02-01』を開発し、平成 24 年 3 月 30 日より物流 E D I センターのホームページにて無償公開いたしました。

今回の改訂により、「物流 XML / E D I 標準」はほぼ完成し、「J T R N」(ジェイトラン)の後継標準として物流業務の効率化等に寄与することが可能となりました。

「J T R N」は、物流業界、電機電子業界、ロジスティクス業界が当時開発を進めていたそれぞれの物流 E D I 標準を、通商産業省、運輸省、および J I P D E C (財団法人日本情報処理開発協会)の支援のもとに統合し、国内統一の物流 E D I 標準として平成 8 年 7 月に J T R N 1 A 版が開発され、その後幾度かの改訂がなされ、現在の 3 C 版に至っています。

「J T R N」は、多くの荷主企業、物流事業者、ベンダー等に利用されており、物流 E D I 標準といえば「J T R N」と言われるほどにその認知度も高まっています。

「J T R N」は、通信ネットワークを専用線や V A N などの利用を前提とした従来型の物流 E D I 標準ですが、インターネットの急激な普及により通信ネットワークおよび通信手段が安価に利用できるようになり、インターネット対応の次世代物流 E D I 標準の必要性が高まってきました。

先進的な荷主業界では、これらのニーズを満たすために、業界独自の次世代物流 E D I 標準を開発しようとしておりました。このままでは荷主業界ごとの異なった次世代物流 E D I 標準が乱立し、「J T R N」の開発以前の状態に戻りかねないとの危機感から、物流 E D I センターでは、平成 1 8 年度に「J T R N」の後継標準として次世代物流 E D I 標準「物流 XML / E D I 標準」の開発に着手しました。「J T R N」の機能を「物流 XML / E D I 標準」に順次移行させるために、これまで毎年改訂を行ってきました。

今回の改訂により、J T R N の 3 4 メッセージのうち、2 5 メッセージの移行が完了し、通常の物流取引に必要なメッセージについては移行が完了したことから、バージョン番号を上げて Ver02-01 としました。残りの 9 メッセージの移行については、利用者のニーズを見ながら進めていきます。

荷主企業による物流業務のアウトソーシング拡大に伴い、3 P L 事業者等の物流事業者と、トラックや倉庫を保有している実物流事業者との間の取引の比重が高まりつつあり、これまでの荷主企業と物流事業者との取引に加え、物流事業者同士の取引に対して、取引業務の効率化と下請法への配慮が今まで以上に重要になってきています。

これらの課題を解決するための手段として、J T R N ならびに「物流 XML / E D I 標準」を活用して頂ければ幸いです。

物流 E D I センターでは、J T R N ならびに「物流 XML / E D I 標準」に対するご意見、改良要望などを受けて、引き続き改良を図っていく予定です。

今回公開した「物流XML／EDI標準」Ver02-01の改訂内容とダウンロード先は、以下のとおりです。

なお、運賃請求情報（明細型）と倉庫料金請求情報（明細型）のビジネスドキュメント明細部の構成が一部変更されておりますので、ご利用の際にはご注意ください。

(1) 「物流XML／EDI標準」Ver02-01の主な改訂内容

- ・運賃請求情報（明細型）ビジネスドキュメント明細部の一部構成変更
- ・倉庫料金請求情報（明細型）ビジネスドキュメント明細部の一部構成変更
- ・運賃支払情報（明細型）ビジネスドキュメントの追加
- ・倉庫料金支払情報（明細型）ビジネスドキュメントの追加
- ・運賃支払情報（明細型）に関わるプロセス定義書の修正
- ・倉庫料金支払情報（明細型）に関わるプロセス定義書の修正

(2) 公開内容のダウンロード先（無償）

<http://www.butstryu.or.jp/edi/>

*【物流XML／EDI標準】

「物流XML／EDI標準」は、JTRNの後継標準として物流EDIセンターが開発したインターネット対応の次世代物流EDI標準です。XML言語で記述したビジネスドキュメント（メッセージ）を、インターネットを通じて送受信します。

*【JTRN】

JTRNは、日本国内統一の物流EDI標準です。

物流EDI推進委員会が開発・改良・維持管理を行っています。

物流EDI推進委員会の事務局は、社団法人日本物流団体連合会 物流EDIセンターと公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が共同で担当しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

■報道に関するお問い合わせ

社団法人日本物流団体連合会

物流EDIセンター

TEL: 03-3593-0139

<http://www.butstryu.or.jp/edi/>

■標準の内容に関するお問い合わせ

鉄道情報システム株式会社

第二営業企画部 営業開発課

TEL: 03-5371-0194

E-Mail: b-edi@jrs.co.jp